

SNS の中の家族コミュニケーション

～アンケート調査による大学生の家族に対する意識～

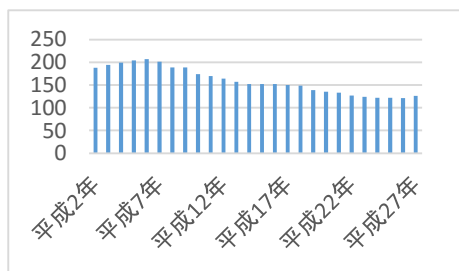
神保美幸（文教大学情報学部広報学科）

1. はじめに

「家族」と聞いて、誰を思い浮かべるだろうか。「家族」という存在は最も身近でありながら、定義することは難しい。法的関係、血縁関係、世帯、姓の共同。どのつながりでも家族と言えるし、人の数だけ家族生活がある。

1994 年生まれの私が成人した 2015 年、新成人は約 126 万人だった。第二次ベビーブーム世代の子どもたちが成人したため 21 年ぶりの増加となったという。

新成人人口の推移(総務省統計局)



新成人の特徴として挙げられていた言葉が「ライトマザコン」である。「ライトマザコン」とは、博報堂ブランドデザイン若者研究所リーダーの原田曜平氏が作った言葉である。

旧来の「マザコン」とは母親に対して過度の愛着や執着を抱くことである。若い男性がいつまでも母親の影響下にあったり、母親のような女性を思慕したりする傾向を持つという。(コトバンクより)マザコン男性の象徴と言えば、テレビドラマの「ずっとあなたが好きだった」(TBS系で1992年放送)の登場人物である、佐野史郎さん演じる「冬彦さん」かもしれない。「冬彦さん」の行動を思い出すと、「マザコン」は重い、気持ち悪い、怖いというイメージを持たれるだろう。

一方、「ライトマザコン」は友達のような軽い関係、ライトに(気軽に)マザコンを公言するという意味で使われる。特徴としては、母親と毎日電話をする、母親を下の名前で呼ぶ、母親との写真を SNS にアップする、友達とも気軽に

母親の話をするなどがある。(原田、2014)

この世代に「ライトマザコン」が多い理由を原田氏は3つ挙げている。1つ目は若者の反抗期が減ったこと、2つ目は若くてきれいな母親が増えたこと、3つ目は SNS でコミュニケーションが気軽になったことである。(原田、2014)

私は3つ目の理由に着目した。母親と息子の関係に限らず、私の周りの友達も家族と仲がいいと感じる。友達よりも家族の用事を優先したり、SNS の中で家族と会話している人も見られる。

LINE でスタンプを送り合えば、些細なコミュニケーションも友達のような感覚で行うことができる。Facebook でお互いの投稿にコメントしたり、写真にタグを付ければ、普段何をしているのか、どんなことを考えているのかも分かるだろう。SNS が普及した今は家族のコミュニケーションの幅が広がっているのではないだろうか。

これまでも、メディアと家族の関わりは研究の中でしばしば分析されてきた。例えば、携帯電話が家族に与える影響は、その直接性によって家族を個別化していくという家族解体説と、携帯電話によるコミュニケーションの常態化によってむしろ家族関係が強化されるという、結束強化説の2つがある。(中村、2001)首都圏調査では「家族のコミュニケーションが増えた」としたのは携帯電話利用者の約2割(22.6%)逆に「家族が個別化してきたような気がする」としたのは約1割(11.1%)だったという。(中村、2001)

新しいメディアが出てくると、必ず悪影響を唱える人がいる。SNS は普及に伴い、炎上やなりすましなどの問題が騒がれた。しかし、今回は SNS の普及により良いこともあったという事例を証明したいと考えている。

今回の調査対象である大学生の時期は、子どもと大人の境である。法律的には大人になる年齢になるが、まだ親に養ってもらっている人も多い。一人暮らしやアルバイトを始めて、親のありがたみが身に染みている人もいるだろう。友人や同級生が結婚や出産をして、自分と同じ世代が親になっているという現実もある。

家族は一番身近な存在だからこそ、多くの問題があり、人に言えない悩みもある。血がつながっていても関係が切

れてしまうこともあれば、逆にどんなに憎しみを抱いていても血はつながっている。強いつながりに見えるが実はもろい「家族」という存在。それをつなぎとめているものがコミュニケーションなのかもしれない。今回の調査は、SNS時代を生きている大学生の、新しい家族コミュニケーションに焦点を当てる。

2. 調査方法

2-1. 進捗経緯

- 4月～6月 調査テーマ討論・決定
- 7月 予備調査実施
- 9月～11月 本調査質問票作成・実施
- 12月～2月 集計・分析・報告書作成

2-2. 調査の概要

2-2-1. 予備調査

調査の目的

SNSが普及している事を前提にした調査だが、大学生の親世代の人もSNSを利用しているのか、また家族内にSNSでつながっている人は実際にいるのかを調査する。

調査時期

2015年7月

調査対象者

文教大学湘南キャンパス 広報学科3年酒井ゼミ生

調査方法

紙面による自記式のアンケートを授業時間内に集合調査で行った。

主な調査項目

- ・自分と家族のSNS利用状況
- ・LINEと家族
- ・Twitterと家族
- ・Facebookと家族

依頼数 11

有効回答数 11

※予備調査は本調査の計画のために行ったもので、結果は掲載しない。本論の考察の一部に用いる。

2-2-2. 本調査

調査の目的

予備調査の結果で、大学生の家族もSNSを利用していることが分かったので、SNSの特性を考慮しつつ質問票を作成した。

この調査では、大学生とその家族のSNS利用と家族のコミュニケーションの関係を明らかにすることを目的としている。

調査時期

2015年11月

調査対象者

文教大学湘南キャンパス学生

2015年度秋学期 「メディア論」「文章演習D」「リサーチデータのリテラシー」「ゼミナール」受講生

調査方法

紙面による自記式のアンケートを授業時間内に集合調査で行った。

主な調査項目

- ・フェイスシート
- ・家族構成・家族関係
- ・家族コミュニケーション
- ・連絡手段・頻度
- ・SNS利用
- ・家族のSNS利用
- ・Twitterの利用と家族
- ・Facebookの利用と家族
- ・LINEの利用と家族
- ・LINEのスタンプについて

仮説

- ・家族とのコミュニケーションをとれているか否かによって、家族の満足度に差は見られる
- ・兄弟位置により家族との関係の満足度が異なる
- ・兄弟位置により家族とのコミュニケーションをよくとるか否か差がある
- ・家族との関係の満足度が高い人はSNSの中でも家族とつながっている
- ・家族とのコミュニケーションをとれている人はSNSの中でも家族とつながっている
- ・TwitterとFacebookではつながることの意識に差がある

依頼数 133

有効回答数 113

※調査対象者の選出は優位抽出法による。その中から不備が多い質問票を除外して分析したため、依頼数と有効回答数に差が生じた

3. 調査結果

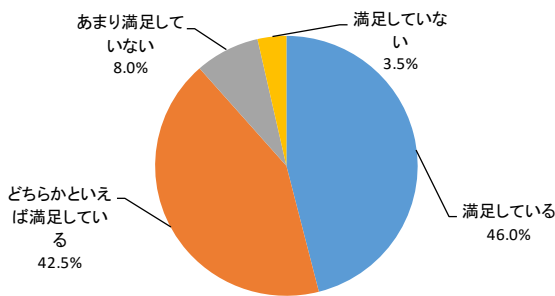
3-1. サンプルの特性

回答者の内訳は「男性」が58.4%、「女性」が41.6%で、平均年齢は、約19歳である。出身地は「関東」が最も多く67.3%で、その内の37.2%は神奈川県出身だった。住まいは「実家暮らし」が42.5%、「一人暮らし」が57.5%という結果になっている。家族構成は「4人家族」が42.5%で最も多い。続いて5人家族が30.1%であった。兄弟位置は「第一子」が39.8%、続いて「末っ子」が38.1%、「一人っ子」が11.5%、「真ん中」が10.6%だった。

3-2. 家族との関係

現在の家族関係の満足度を示したグラフが図表-1 である。「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると88.5%である。

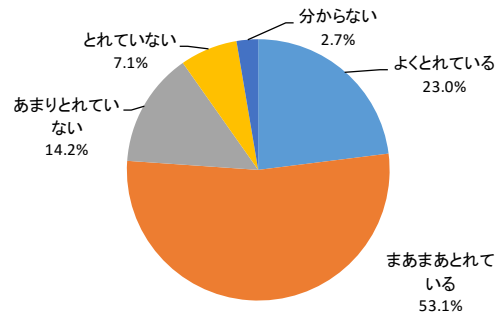
図表-1 家族との関係(N=113)



図表-2の家族とのコミュニケーションに関しても、「よくとれている」「まあまあとれている」と回答した人は76.1%だった。

この結果から、サンプルの家族関係の満足度は高く、コミュニケーションもよくとれていることがうかがえる。

図表-2 家族とのコミュニケーション(N=113)



家族とのコミュニケーションについてさらに深く考察するために、家族とのコミュニケーション行動15項目それぞれの平均得点を算出し、バリマックス回転を用いて主成分分析による因子分析を行った。その結果、図表-3 に示したように2つの因子が検出された。因子1は旅行に行く、休日に出かけるなど、比較的深いコミュニケーション行動だと考えられる。よって因子1を「特別な家族コミュニケーション」と名付ける。それに対して、因子2は朝の挨拶を交わすや、家事を協力して行うなど、お互いが気持ちよく家族生活を行うための最低限のコミュニケーションなのではないだろうか。因子2は「日常的な家族コミュニケーション」と名付ける。

図表-3 家族とのコミュニケーション行動

	平均値	因子1	因子2
家族で旅行に行く	2.77	.852	.094
休日は家族でよく出かける	2.56	.830	.177
家族全員が一緒に食卓を囲む	3.27	.753	.281
家族の写真を撮る	2.74	.727	.318
家族の予定を共有し合う	3.06	.666	.460
新年を一緒に迎える	3.64	.584	.276
朝の挨拶をかわしている	3.42	.221	.767
日頃からよくおしゃべりする	3.77	.346	.691
誕生日にプレゼントをあげる	2.83	-.042	.688
将来や進路について話す	3.58	.205	.674
家事を協力して行っている	3.03	.345	.612
よく相談をする	2.97	.440	.600
出かける時どこに行くか伝える	3.71	.342	.568
お互い友人の名前を知っている	3.12	.457	.540
一緒にテレビを見る	3.75	.349	.526

注) 現在一人暮らしの人は、家族と同居していたころのことを思い出して回答してもらっている

平均値は5に近いほど「当てはまる」1に近いほど「当てはまらない」

家族関係についての仮説の検証をしていく。「家族とのコミュニケーションをとれているか否かによって、家族の満足度に差は見られる」という仮説を検証するため、一元配置の分散分析を行った。その結果コミュニケーションがとれている人の満足度の平均は1.44、コミュニケーションがとれていないひとの満足度の平均は2.54となった。(満足

度の平均値は1に近いほど「満足している」4に近いほど「満足していない」結果は、1%水準で有意に差がみられた。(F値=56.783、dx=109)つまり、家族とコミュニケーションがとれている人ほど、家族関係に満足していることが分かる。

では、家族関係の満足度が高い人はどのようなコミュニケーション行動をしているのだろうか。これを調べるために、家族とのコミュニケーション行動 15 項目を独立変数、家族関係の満足度を従属変数に、重回帰分析を実施した(ステップワイズ法)。同時に家族とのコミュニケーション行動 15 項目を独立変数、家族とのコミュニケーションを従属変数に重回帰分析を実施した。図表-4 はステップワイズ法によって満足度やコミュニケーションに影響を与えていない変数を除外した結果である。この表から、家族関係の満足度が高い人は、「日頃からよくおしゃべりをする」「朝の挨拶を交わしている」「将来や進路について話す」というコミュニケーション行動をしている人が多いことが分かる。この3項目は図表-3 で示した因子2「日常的な家族コミュニケーション」に当てはまる。このことから家族関係の満足度が高い人は、家族ととるべきコミュニケーションをしっかりとっている人だと考えられる。

また、家族とのコミュニケーションをよくとっている人は「日頃からよくおしゃべりをする」「朝の挨拶を交わしている」「家族の写真を撮る」というコミュニケーション行動をしている人が多いことが分かる。特に「日頃からよくおしゃべりをする」は1%水準で有意に差がみられた。「コミュニケーション」と聞けば「話すこと」を第一に連想するだろう。そのことが顕著に表れた結果なのではないだろうか。また、唯一、因子1「特別な家族コミュニケーション」の「家族と写真を撮る」が入っていることも特筆すべきことだろう。「家族とよくコミュニケーションをとる」とことと「家族の写真を撮る」という行為は一見つながりがないように思える。しかし、スマートフォンやSNSが普及した今だからこそ、写真を送り合って会話をしたり、写真をSNSに載せたりして、家族とのコミュニケーションをとっているのではないだろうか。

図表-4 家族関係に満足している、家族とコミュニケーションを良くとれている人はこんなことをしている

	家族関係の満足度	家族とのコミュニケーション
日頃からよくおしゃべりをする	-0.272 *	-0.502 **
朝の挨拶を交わしている	-0.231 *	-0.213 *
将来や進路について話す	-0.21 *	
家族の写真を撮る		-0.184 *

注) **p<01, *p<05 R²=.343 R²=.546

続いて、「兄弟位置により家族との関係の満足度が異なる」「兄弟位置により家族とのコミュニケーションをよくとるか否か」という仮説を検証する。はじめに、兄弟位置と家族との関係の関連をクロス集計した。しかし有意に差がみられなかった。

兄弟位置と家族コミュニケーションの関連をクロス集計表で整理した結果、図表-5 のようになった。カイ二乗検定の結果(X²=23.694、df=12)、5%水準で有意に関連が見られた。そこで傾向を分析すると、「第一子」の場合家族とコミュニケーションをよくとれている・まあまあとれている割合が高く、続いて「真ん中」「末っ子」が同じぐらい高く、一番家族とコミュニケーションをとれている割合が低いのが「一人っ子」という傾向である。兄弟位置の違いと、家族コミュニケーションをとるか否かに関連がある傾向にある。

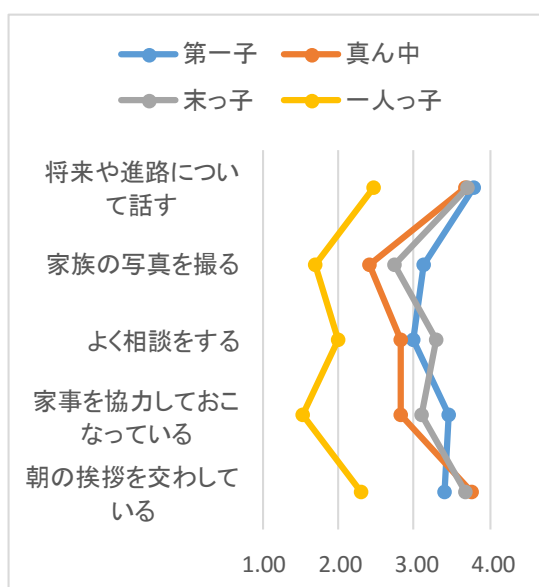
図表-5 兄弟位置と家族とのコミュニケーションのクロス集計表

	よくとれている	まあまあとれている	あまりとれていない	とれていない	分からない
第一子	15(33.3%)	23(51.1%)	5(11.1%)	1(2.2%)	1(2.2%)
真ん中	1(8.3%)	7(58.3%)	2(16.7%)	1(8.3%)	1(8.3%)
末っ子	10(23.3%)	23(53.5%)	8(18.6%)	2(4.7%)	0(0.0%)
一人っ子	0(0.0%)	7(53.8%)	1(7.7%)	4(30.8%)	1(7.7%)

兄弟位置の違いと、家族コミュニケーションをとるか否かに関連があることは分かった。では、どのようなコミュニケーション行動に差がでるのだろうか。「家族とのコミュニケーション行動と兄弟位置の差はみられる」という仮説を新たにたて、一元配置の分散分析を行ったところ5つの項目で1%水準の有意な差が見られた。その項目は「朝の挨拶を交わしている」(F値=3.609、dx=112)「家事を協力して行っている」(F値=8.486、dx=112)「よく相談をする」(F値=4.232、dx=112)「家族の写真を撮る」(F値=5.337、

dx=109)「将来や進路について話す」(F値=5.279、dx=112)の5つである。図表-6を見ると、この5つの項目すべて、一番平均値が低いのが「一人っ子」であることが分かる。それに対して5つ中4つの項目で平均値が最も高いのが「第一子」である。意外だったのは5つ中4つの項目で「真ん中」の平均値を「末っ子」が上回っていたことである。「末っ子」は最も甘やかされて育つイメージでコミュニケーション行動が少ないと思っていたが、兄弟の多い「真ん中」こそ他の兄弟・姉妹に任せてコミュニケーション行動を怠っているのかもしれない。

図表-6 家族とのコミュニケーション行動と兄弟位置の差



注) 平均値は5に近いほど「当てはまる」1に近いほど「当てはまらない」

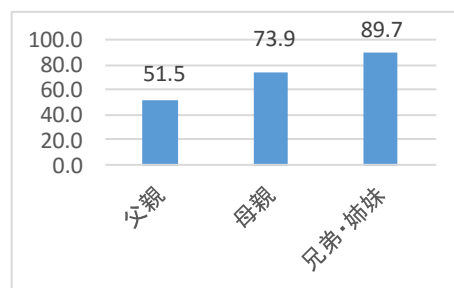
3-3. 家族コミュニケーションの目的と手段

家族と連絡をする時もっとも利用する手段を訪ねたところ、「LINE」が59.8%で「電話」の19.6%、「メール」の14.4%と比べて、とびぬけて高かった。また、図表-7に示したように、場面ごとの家族への連絡手段も「相談」を除くすべての場面でLINEを連絡手段として用いる率が最も高いことが分かる。サンプルの「LINE」の利用率が99.1%だという事を踏まえれば納得の結果だろう。では、家族も「LINE」を利用しているのだろうか。図表-8はサンプルの家族のLINEの利用状況である。LINEを利用している「父親」は51.5%、「母親」は73.9%、「兄弟・姉妹」は89.7%となっている。LINEは大学生の兄弟・姉妹はもちろん、親世代にも浸透していると言えるだろう。

図表-7 場面ごとの家族への連絡手段

	通話	メール	LINE	対面
気持ちの伝達	22.10%	5.80%	39.40%	32.70%
相談	27.40%	5.70%	24.50%	42.50%
身近な話題・ニュースの伝達	9.30%	12.10%	44.90%	33.60%
帰宅時間の連絡・確認	10.40%	20.80%	64.20%	4.70%
待ち合わせの連絡	11.30%	18.90%	65.10%	4.70%

図表-8 家族のLINE利用率



3-4. SNSの利用と家族

LINEの利用率は前述したとおりだが、その他のSNSはどうだろうか。サンプルのTwitterの利用率は81.4%、Facebookの利用率は40.7%だった。LINEも含めたSNSの利用頻度は5段階評定でよく使う側の2項目の合計が83.8%である。

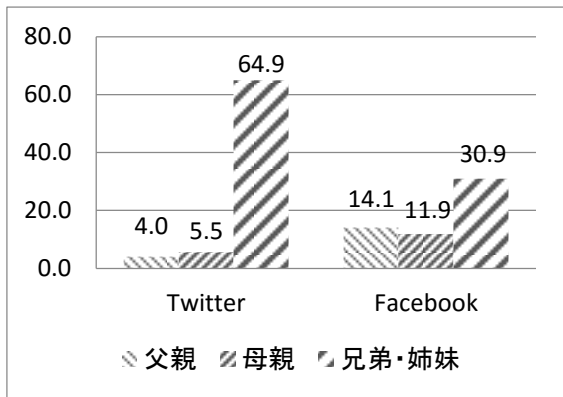
家族のTwitterとFacebookの利用率は図表-9のとおりである。Twitterは「兄弟・姉妹」が64.9%なのに対し、「父親」4.0%、「母親」5.5%と、親世代で利用しているのはごく少数のようだ。Facebookは「兄弟・姉妹」が30.9%、「父親」14.1%、「母親」11.9%という結果になった。「LINE」「Twitter」では利用率が家族の中で最も低かった父親が「Facebook」では少し利用率が伸びている。

TwitterとFacebookを比較すると、Twitterはサンプルの大学生とその兄弟の利用率が高いのに対し、FacebookはあまりSNSを利用しない父親、母親からも支持があるようだ。

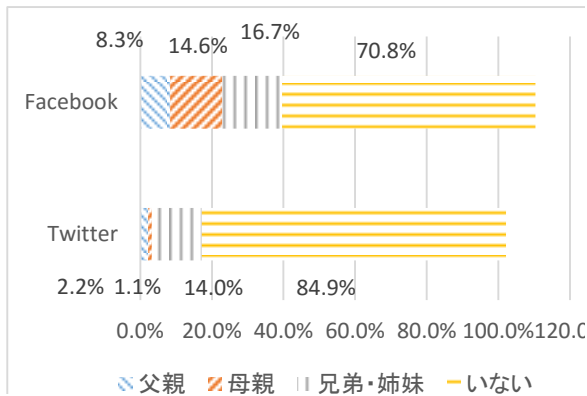
Twitterの利用頻度で最も多かった回答は「1日3回以上」で25.8%だった。それに対しFacebookの利用頻度で最も

多かった回答は、「ほとんど投稿しない」で35.4%という対照的な結果となった。図表-10はTwitterをフォローしている家族、Facebookで友達になっている家族を複数回答してもらったグラフである。ほとんどが「いない」と回答しているが、家族をフォローしていたり、友達になっている割合は父親、母親、兄弟・姉妹を合わせるとTwitter17.3%、Facebook39.6%と差がみられた。

図表-9 Twitter と Facebook の利用率



図表-10 Twitter をフォローしている家族、Facebook で友達になっている家族

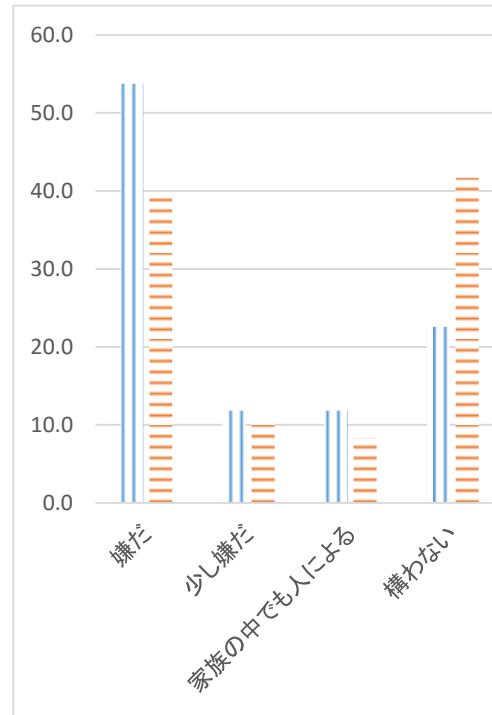


図表-11は「Twitterで家族とつながることに対してどう思うか」、「Facebookで家族とつながることに対してどう思うか」のグラフである。Twitterでつながることに対しては「嫌だ」が最も多い53.8%だったのに対し、Facebookでつながることに対しては、「構わない」が最も多く41.7%であった。

なぜこのような結果になったのだろうか。予備調査では、家族とTwitterやFacebookでつながることに関してどう思うか回答してもらった後、その理由を自由記述で聞いた。

Twitterに関しては、「すべてに関して干渉されたくないから」「プライベートの深いところがばれるから」「別にいい」「見られたくない」「見られたくないツイートもあるから」「ツイッターではかなり自由なことを言っているから」「たとえ家族でも見られたくないことがあると思うから」「はずかしい」など否定的な意見が多く見られた。

図表-11 SNS内で家族とつながること



一方Facebookでは、「別にいい」「FacebookはTwitterとちがって、そこまでプライベートなことは書かないから」「安否確認に役立つ」「全然投稿してないから」「twitterよりははまだけどやっぱりはずかしい」などTwitterより肯定的な意見が多かった。この違いはそれぞれのSNSの特性に関係があるものだと思う。

特性の1つとして登録名の違いを挙げる。Twitterは匿名やニックネームでの登録が可能なのに対し、Facebookは実名で登録する規則がある。匿名で好き勝手なことをつぶやくTwitterだからこそ家族とつながるのが嫌だという結果になったのではないだろうか。また、実名登録のFacebookには、「友達かも」という機能がある。電話番号や位置情報、共通の友達などによって「友達かも」とほかの人のページが表示される。SNSが「つながり」を強要する時代の家族とは、SNSの中では、「何事もつつみかくさず、できるだけすべてのことを分かち合う家族」を演じ、裏ではそれぞれが秘密を抱えているのかもしれない。そう考えると、SNS

の中の家族コミュニケーションとは表面上だけのコミュニケーションであると考えさせられる。

2つ目の特性は時間軸の違いである。Twitter はリアルタイムで伝わるニュースや話題で、時間軸を共有するのに対し、Facebook は、友だちとやり取りした内容は掲示板に残り、それを他の友だちが閲覧することができる。また、ビジネスでも利用されていて会社や企業のアカウントも多くある。このような特性から、親子で使いやすいSNS が分かれたのではないだろうか。

3つ目の特性は投稿の文字数と写真の枚数である。Twitter は140文字までつぶやき、4枚までの写真を投稿できるのに対して、Facebook は文字制限がなく、写真の枚数の制限もない。Twitter だと、どうしても書けることが限られる。今日1日何があったかを書くのには、文字数が足りないし、旅行に行っても、一気に沢山の写真は投稿できない。そうすると、そのときの「気持ち」「感情」を投稿する人が多いのではないだろうか。それに対して、Facebook は文字制限がないため、多くの言葉と写真で、経験を投稿することができる。家族と「気持ち」を共有することは「嫌だ」と感じ、「経験」を共有することは「構わない」ということになる。

これらの結果を踏まえて、「家族関係の満足度が高い人はSNSの中でも家族とつながっている」「家族とのコミュニケーションをとれている人はSNSの中でも家族とつながっている」という仮説を検証する。図表-12はTwitterでフォローしている兄弟・姉妹と家族の関係の満足度のクロス集計表である。父親と母親に関しては、フォローしている人の母数が少なすぎたため、結果に正統性がなかったが、弟・姉妹に関してTwitterをフォローしている人は家族関係の満足度が高く、コミュニケーションをよくとれている人が多いことが分かる。

図表-12 Twitterでフォローしている兄弟・姉妹と家族関係の満足度のクロス集計表

	満足している	どちらかといえば満足している	あまり満足していない	満足していない
兄弟・姉妹	5(38.5%)	8(61.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)
	よくとれている	まあまあとれている	あまりとれていない	とれていない
	3(23.1%)	8(61.5%)	2(15.4%)	0(0.0%)

図表-13 Facebookで友達になっている家族と家族関係の満足度のクロス集計表

	満足している	どちらかといえば満足している	あまり満足していない	満足していない
父親	1(25.0%)	1(25.0%)	2(50.0%)	0(0.0%)
母親	3(42.9%)	3(42.9%)	1(14.3%)	0(0.0%)
兄弟・姉妹	2(25.0%)	4(50.0%)	2(25.0%)	0(0.0%)

図表-13はFacebookで友達になっている家族と家族関係の満足度のクロス集計表である。こちらにも母数は少ないが、父親を除くとFacebookで友達になっている人は家族関係の満足度が高いことが表から見てとれる。図表-14はFacebookで友達になっている家族と家族とのコミュニケーションのクロス集計表である。こちらはFacebookで友達になっている人が家族コミュニケーションをよくとれている割合が低い。特に父親とFacebookで友達になっている人の75%は家族とのコミュニケーションがあまりとれていないと回答している。

前述したSNSの特性を踏まえてこの結果を考察すると、SNSで家族と友達になっている人は、家族関係の満足度が比較的高いと思われる。しかしコミュニケーションをよくとれているとは限らない。SNSの特性によりつながりたくなくてもつながってしまった可能性もあるし、コミュニケーションが取れていないことを補うためにSNSでつながっているとも考えられる。

図表-14 Facebook で友達になっている家族と家族とのコミュニケーションのクロス集計表

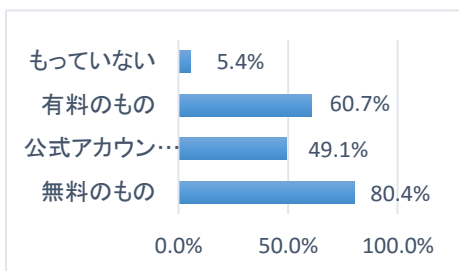
	よくとれている	まあまあとれている	あまりとれていない	とれていない
父親	1(25.0%)	0(0.0%)	3(75.0%)	0(0.0%)
母親	2(28.6%)	3(42.9%)	2(28.6%)	0(0.0%)
兄弟・姉妹	2(25.0%)	4(50.0%)	2(25.0%)	0(0.0%)

SNS を使った新しいコミュニケーションの方法のひとつとしてLINE のスタンプ機能を挙げる。

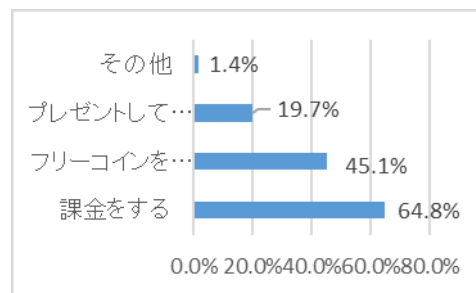
LINE スタンプとは、コミュニケーションアプリ「LINE」に挿入できるイラストのことである。喜怒哀楽をはじめ、感動・落胆・放心・ドヤ顔・お礼・お詫び・懇願・からかい・応援などといった、多種多様な感情や心境を表現したイラストが提供されている。メッセージにスタンプを添えることで、言葉では表現しにくい感情の機微を、的確かつ簡潔に伝えることができる。

図表-15 は LINE でどのようなスタンプをダウンロードしているか、複数回答してもらったグラフである。もっていないひとは 5.4%に留まり、LINE を利用しているほとんどの人がスタンプ機能も利用しているといえる。スタンプの中には有料のものもあるが、60.7%が有料のスタンプをダウンロードしている。図表-16 は有料のスタンプをどのようにして入手したのか複数回答してもらったグラフである。最も多い入手方法は「課金をする」の 64.8%である。お金を払ってまでほしいコミュニケーション機能「LINE スタンプ」とはどのような意図で利用されているのだろうか。

図表-15 LINE でどのようなスタンプをダウンロードしているか



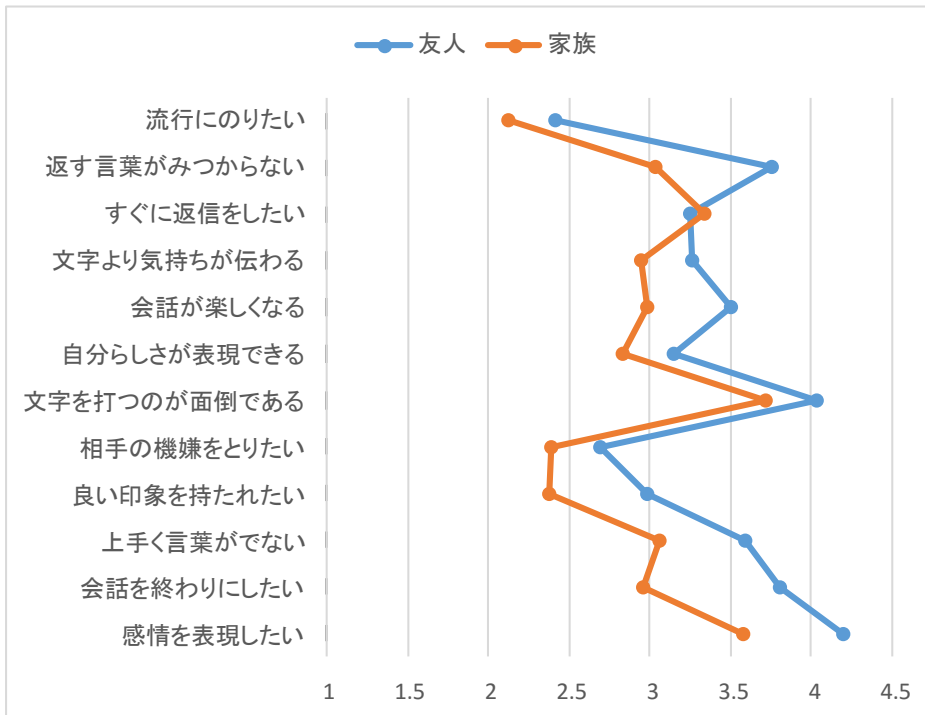
図表-16 有料スタンプの入手方法



LINE スタンプの用途 12 項目の平均値の差を、友人にスタンプを使う場合と家族にスタンプを使う場合を比較するために、対応のある t 検定を行った。その結果を示したグラフが図表-17 である。「会話が楽しくなる」は 5%水準、その他の項目は 1%水準で有意な差がみられた。スタンプを使う用途が友人の場合は「感情を表現したい」が最も平均値が高いのに対し、家族の場合は「文字を打つのが面倒なため」の平均値が最も高かった。家族の平均値が友人の平均値を下回るものが多かったが、唯一上回った用途が「すぐに返信をしたい」という項目である。家族にスタンプを使う用途で、最も平均値が高いものも、友人の平均値を上回る者も、会話を簡単に・早くしたいという意図がうかがえる。気心が知れた家族とは、つい会話がぶっきらぼうになってしまうたり、そっけないメールを送ってしまったりするだろう。その点、LINE スタンプは 1 タップで簡単にすばやく送れることが出来るにも関わらず、相手を不快な気分にはさせない。むしろ楽しい気持ちになるだろう。

図表-17 LINE スタンプの用途 12 項目の平均値、友人と家族の差

注) 平均値は5に近いほど「当てはまる」1「当てはまらない」



4. まとめと今後の課題

調査結果より、SNS の普及により家族コミュニケーションの幅は広がっているといえるだろう。大学生の家族関係の満足度は思った以上に高く、コミュニケーションもよく取れている人が多かった。しかし、コミュニケーションの内容や質は、兄弟位置などの家族環境や、使う SNS の特性によっても異なる。SNS で家族とつながっている人は、家族関係も良好になるとは一概には言えないが、SNS を上手く利用することで、コミュニケーションの機会は増えるのではないだろうか。

紙面の調査だけでは、「家族についての意識」を深く理解するには限界があると感じたが、調査したことで新たな発見もあった。

課題としては、親世代の SNS の利用率がまだ低かったのもっと普及してから、また調査をしてみたら違った結果が見られるかもしれない。

本論を読んで、今一度、自分の家族とのコミュニケーションについて思いを巡らせていただければ幸いである。

参考文献

「新成人人口は 126 万人」(総務省統計局)
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi852.htm>

「なぜ若者たちはマザコン化するのか？」(東洋経済 ONLINE)博報堂ブランドデザイン若者研究所リーダー原田曜平
<http://toyokeizai.net/articles-/38477>

「ソーシャルメディア活用～それぞれの特性を知って使い分ける」(特定非営利活動法人 IT コーディネータ京都)
<http://www.itc-kyoto.jp/2011/05/30/%E3%82%BD%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%A3%E3%83%AB%E3%83%A1%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%A2%E6%B4%BB%E7%94%A8-%E3%81%9D%E3%82%8C%E3%81%9E%E3%82%8C%E3%81%AE%E7%89%B9%E6%80%A7%E3%82%92%E7%9F%A5%E3%81%A3%E3%81%A6%E4%BD%BF%E3%81%84%E5%88%86%E3%81%91%E3%82%8B-%E6%9D%89%E6%9D%91-%E9%BA%BB>

%E8%A8%98%E5%AD%90/

「情報行動の社会心理学」(中村功)
<http://nakamuraisao.a.la9.jp/kitaohji.html>

「BINARY IT 用語辞典 LINE スタンプ」
<http://www.sophia-it.com/content/LINE%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%83%97>

『「LINE スタンプ」がマーケティング戦略で効果的な理由』
(日経トレンディネット)
<http://trendy.nikkeibp.co.jp/article/column/20150204/1062518/?rt=ocnt>

「LINEに関する調査。10代女性の94%がLINEを使っている。」(リサーチバンク)
http://research.lifemedia.jp/2014/09/140903_line.html

メディアインタラクティブ(2012)「家族コミュニケーションに関する意識調査」
https://www.i-research.jp/report/report/r_20120215.pdf

共働き家族研究所(1990)「家族コミュニケーションの状況とそのあり方」
<https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/kurashi/report/K019.pdf#search=%E5%AE%B6%E6%97%8F+%E3%82%B3%E3%83%9F%E3%83%A5%E3%83%8B%E3%82%B1%E2%80%95%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3>

日吉昭彦・杉山学(2000)「親子関係における携帯電話の利用と満足研究」

狐塚貴博(2011)「青年期における家族構造と家族コミュニケーションに関する研究」

NHK 放送文化研究所(2010)「家庭内多メディア共存時代のいま テレビ番組・ゲームと家族コミュニケーション」

神原文子・杉井潤子・武田美和(2009)『よくわかる現代家族』ミネルヴァ書房

モバイル社会研究所(2009)『世界の子どもとケータイ・コミュニケーション』NTT 出版

岩村暢子(2007)『普通の家族がいちばん怖い—徹底調査! 破滅する日本の食卓—』新潮社

大学生の家族コミュニケーションとSNS利用に関する調査

2015年11月

調査項目作成・実施
文教大学情報学部広報学科
「社会調査Ⅲ」
調査員氏名：神保美幸
担当教員：日吉昭彦

I あなたについてお聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性 58.4% 2. 女性 41.6%

問2 あなたの学部、学科、学年を教えてください。(記述)

学部 _____ 学科 _____ 年 _____
メディア表現 23.0% 広報 21.2% 経営 18.6% 国際理解 15.0% 情報システム 13.3% 国際
観光 7.1% 情報社会 1.8%

1年 42.3% 2年 32.4% 3年 22.5% 4年 2.7%

問3 あなたの出身地を都道府県で教えてください。外国の方は国名で記入してください。
(記述)

北海道・東北 10.6% 関東 67.3% 中部 15.9% 中国 4.4% 九州・沖縄 1.8%

問4 あなたの年齢を教えてください。(記述)

_____ 歳
18歳 8.8% 19歳 38.9% 20歳 30.1% 21歳 20.4% 22歳 0.9% 23歳 0.9%

問5 あなたの住まいについて教えてください。(1つに○)

1. 実家暮らし 42.5% 2. 一人暮らし(寮も含む) 57.5% 3. その他 0%

【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査票には、必ず調査票を受け取った**ご本人**がご回答・ご記入ください。
2. 該当する質問には、**すべて**お答えください。
3. アンケートの結果は、表やグラフの形で数値として表現しますので、他の方が集計結果を見たときに特定の個人がどのような回答をしたのか分かることはありません。どうぞありのままをお答えください。
4. お答えは、それぞれの問いの指示に従って、あてはまる番号に○をつけるか、文字や数字を記入して下さい。問いの番号にそってお答えください。
5. ご記入は、黒の筆記用具でお願いいたします。黒であれば、ボールペンでも鉛筆でもかまいません。
6. 設問の内容など、不明な点がありましたら、近くの調査担当者にお尋ねください。

II あなたとあなたの家族の関係についてお聞きします

問6 あなたの家族構成を教えてください。(記述)

(例：父、母、姉)

2人1.8% 3人16.8% 4人42.5% 5人30.1% 6人7.1% 7人0.9% 8人0.9%
 父88.5% 母94.7% 兄①25.7% 兄②4.4% 姉①28.3% 姉②5.3% 弟①25.7%
 弟②1.8% 妹①26.5% 妹②3.5% 祖父6.2% 祖母17.7% 曾祖母0.9%

問7 あなたは兄弟・姉妹の中でどの位置ですか。(1つに○)

1. 第一子 39.8% 2. 真ん中 10.6% 3. 末っ子 38.1% 4. 一人っ子 11.5%

問8 あなたは現在、家族との関係に満足していますか。(1つに○)

1. 満足している 46.0% 2. どちらかといえば満足している 42.5%
 3. あまり満足していない 8.0% 4. 満足していない 3.5%

問9 あなたは家族とコミュニケーションがとれていると思いますか。(1つに○)

1. よくとれている 23.0% 2. まあまあとれている 53.1%
 3. あまりとれていない 14.2% 4. とれていない 7.1% 5. 分からない 2.7%

問10 あなたが家族の中で一番、対面でコミュニケーションをとるのは誰ですか。(1つに○)

1. 父親 8.0% 2. 母親 74.3% 3. 兄弟・姉妹 15.9%
 4. その他 1.8%

問11 家族とのコミュニケーション行動についてお聞きします。現在一人暮らしの人は、家族と同居していた頃のこと、または帰省した時のことを思い出し、出してお答えください。(数字1つに○)

a. 誕生日にプレゼントをあげる	当てはまる 2(17.6%)---1(30.4%) 当てはまらない 5(18.6%)---4(24.5%)---3(8.8%)---
b. 日頃からよくおしゃべりする	5(31.0%)---4(38.1%)---3(15.0%)--- 2(8.8%)---1(7.1%)
c. 家族全員と一緒に食卓を囲む	5(25.0%)---4(24.1%)---3(22.3%)--- 2(9.8%)---1(18.8%)
d. 家族の予定を共有し合う	5(12.4%)---4(28.3%)---3(26.5%)--- 2(18.6%)---1(14.2%)
e. 休日は家族でよく出かける	5(11.5%)---4(14.2%)---3(23.9%)--- 2(19.5%)---1(31.0%)
f. 朝の挨拶を交わしている	5(30.1%)---4(23.9%)---3(17.7%)--- 2(14.2%)---1(14.2%)
g. 家事を協力して行っている	5(16.8%)---4(21.2%)---3(26.5%)--- 2(18.6%)---1(16.8%)
h. 新年を一緒に迎える	5(37.2%)---4(18.6%)---3(23.0%)--- 2(13.3%)---1(8.0%)
i. お互い友人の名前を知っている	5(18.6%)---4(28.3%)---3(15.0%)--- 2(23.0%)---1(15.0%)
j. 家族で旅行に行く	5(13.3%)---4(23.0%)---3(16.8%)--- 2(21.2%)---1(25.7%)
k. よく相談をする	5(10.6%)---4(23.9%)---3(33.6%)--- 2(15.9%)---1(15.9%)
l. 出かける時どこに行くか伝える	5(30.4%)---4(36.6%)---3(15.2%)--- 2(9.8%)---1(8.0%)
m. 一緒にテレビを見る	5(29.2%)---4(40.7%)---3(14.2%)--- 2(8.0%)---1(8.0%)
n. 家族の写真を撮る	5(11.5%)---4(17.7%)---3(20.4%)--- 2(34.5%)---1(15.9%)
o. 将来や進路について話す	5(23.9%)---4(34.5%)---3(23.0%)--- 2(13.3%)---1(5.3%)

IV SNSの利用についてお聞きます

問12 あなたは大学・大学院を卒業後、家族と同居したいと思いますか。(1つに○)

1. 思う 16.2% 2. 思わない 44.1% 3. まだ分からない 39.6%

III あなたとあなたの家族のコミュニケーションの目的と手段についてお聞きます

問13 あなたが家族と連絡をとるとき、最も利用するものを教えてください。(1つに○)

1. 電話 19.6% 2. メール 14.4% 3. ショートメール 5.2% 4. LINE 59.8%
5. Twitterのダイレクトメッセージ 0% 6. Facebookのメッセージ 0%
7. その他() 1.0%

問14 あなたは家族とどれくらいの頻度で連絡をとりますか。(1つに○)

1. 毎日 5.4% 2. 週3回以上 19.8% 3. 週1~2回 35.1%
4. 月に数回 23.4% 5. 月1~2回 9.9% 6. 年に数回 2.7%
7. ほとんどとらない 2.7% 8. とらない 0.9%

問15 あなたが家族の中で一番、通信機器(電話、メール、SNS等)を用いてコミュニケーションをとるのは誰ですか。(1つに○)

1. 父親 7.3% 2. 母親 84.4% 3. 兄弟・姉妹 8.3%
4. その他 0%

問16 A~Eのような場面の時、家族にどの手段を使って伝えることが多いですか。

(各1つに○)

	通話	メール	LINE	対面
A. 気持ちの伝達	22.1%	5.8%	39.4%	32.7%
B. 相談	27.4%	5.7%	24.5%	42.5%
C. 身近な話題・ニュースの伝達	9.3%	12.1%	44.9%	33.6%
D. 帰宅時間の連絡・確認	10.4%	20.8%	64.2%	4.7%
E. 待ち合わせの連絡	11.3%	18.9%	65.1%	4.7%

問17 あなたが現在、利用しているSNSを教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. LINE 99.1% 2. Twitter 81.4% 3. Facebook 40.7%

問18 あなたのSNS利用頻度を教えてください。(数字1つに○)

- よく使う 5(62.2%)...4(21.6%)...3(11.7%)...2(3.6%)...1(0.9%) 使わない

問19 あなたの家族が利用しているSNSについて教えてください。

(利用している→○ 利用していない→× 知らない→△ を下記枠内に記入)

	LINE	Twitter	Facebook
父親	51.5%	4.0%	14.1%
母親	73.9%	5.5%	11.9%
兄弟・姉妹	89.7%	64.9%	30.9%

※兄弟・姉妹が複数いる場合はその中で一番年上の人を想定して下さい
いない場合は空欄のままです

※Twitterを利用している人は回答して下さい。

問20 あなたはどれくらいの頻度でTwitterに投稿していますか。(1つに○)

1. 1日3回以上 25.8% 2. 1日1~2回 15.1% 3. 週3回以上 15.1%
4. 週1~2回 20.4% 5. 月に数回 14.0% 6. 年に数回 1.1%
7. ほとんど投稿しない 7.5% 8. 投稿したことがない 1.1%

問21 あなたが家族の中でTwitterをフォローしている、またはフォローされている人がいたら教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 父親 2.2% 2. 母親 1.1% 3. 兄弟・姉妹 14.0% 4. いない 84.9%

問22 あなたは家族とTwitterでつながることに對してどう思いますか。(1つに○)

1. 嫌だ 53.8% 2. 少し嫌だ 11.8% 3. 家族の中でも人による 11.8%
4. 構わない 22.6% 5. つながりたい 0%

※Facebook を利用している人は回答してください。

問23 あなたはどれくらいの頻度でFacebook に投稿しますか。(1つに○)

1. 1日3回以上 4.2%	2. 1日1~2回 4.2%	3. 週3回以上 0%
4. 週1~2回 4.2%	5. 月に数回 25.0%	6. 年に数回 16.7%
7. ほとんど投稿しない 35.4%	8. 投稿したことがない 10.4%	

問24 あなたが家族の中で、Facebook で友達になっている人がいたら教えてください。

(あてはまるもの全てに○)

1. 父親 8.3%	2. 母親 14.6%	3. 兄弟・姉妹 16.7%	4. いない 70.8%
------------	-------------	----------------	--------------

問25 あなたは家族とFacebook でつながることに対してどう思いますか。(1つに○)

1. 嫌だ 39.6%	2. 少し嫌だ 10.4%	3. 家族の中でも人による 8.3%
4. 構わない 41.7%	5. つながりたい 0%	

※LINE を利用している人は回答して下さい。

問26 あなたのLINE のアイコンに近いものを教えてください。(1つに○)

1. 写真など自分の顔が写っているもの 50.9%	2. 風景やイラスト 43.8%
3. 設定していない 5.4%	

問27 あなたはLINE でどのようなスタンプをダウンロードしていますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 無料のもの 80.4%	2. 公式アカウントの友達追加でもらえるもの 49.1%
3. 有料のもの 60.7%	4. もっていない 5.4%

問28 問27で3を選択した人にお聞きします。有料のスタンプはどのようなようにして入手しますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 課金をする 64.8%	2. フリーコインをためる 45.1%
3. プレゼントしてもらう 19.7%	4. その他() 1.4%

問29 あなたは友人とLINE する際、どんな用途でスタンプを使いますか。(数字1つに○)

a. 感情を表現したい	当てはまる 5(42.4%)---4(29.3%)---3(18.2%)---2(5.1%)---1(5.1%) 当てはまらない
b. 会話を終わりにしたい	5(32.4%)---4(28.7%)---3(20.4%)---2(10.2%)---1(8.3%)
c. 上手く言葉が出ない	5(23.9%)---4(31.2%)---3(20.2%)---2(11.9%)---1(12.8%)
d. 良い印象を持たれない	5(10.1%)---4(22.0%)---3(23.9%)---2(21.2%)---1(22.9%)
e. 相手の機嫌をとりたい	5(6.4%)---4(14.7%)---3(28.4%)---2(23.9%)---1(26.6%)
f. 文字を打つのが面倒である	5(36.7%)---4(34.9%)---3(12.8%)---2(5.5%)---1(10.1%)
g. 自分らしさが表現できる	5(19.3%)---4(18.3%)---3(23.9%)---2(22.0%)---1(16.5%)
h. 会話が楽しくなる	5(26.6%)---4(23.9%)---3(30.3%)---2(6.4%)---1(12.8%)
i. 文字より気持ち伝わる	5(13.8%)---4(24.8%)---3(29.4%)---2(15.6%)---1(16.5%)
j. すぐに返信をしたい	5(19.3%)---4(21.2%)---3(20.0%)---2(19.3%)---1(20.2%)
k. 返す言葉が見つからない	5(31.2%)---4(27.5%)---3(19.3%)---2(8.3%)---1(13.8%)
l. 流行にのりたい	5(6.4%)---4(11.9%)---3(21.1%)---2(21.1%)---1(39.4%)

問30 友人とLINE をする際、最も利点だと思うことを教えてください。(1つに○)

1. 音声通話・ビデオ通話が無料 21.7%	2. 簡単にトークが送れる 46.7%
3. グループトークができる 22.8%	4. 過去のトーク内容が残る 2.2%
5. トークの既読が分かる 3.3%	6. 写真・動画が簡単に送れる 3.3%
7. スタンプ機能がある 0%	

※ここからの質問は家族とLINEをする人のみ回答して下さい。

問31 あなたが家族の中で一番頻繁にLINEのやりとりをする人を教えてください。

(1つに○)

1. 父親 6.3%	2. 母親 67.4%	3. 兄弟・姉妹 21.1%
4. その他 5.3%		

問32 問31で回答した家族とはどのくらいの頻度でLINEのやりとりをしますか。

(1つに○)

1. 週3回以上 20.0%	2. 週1~2回 42.1%	3. 月3回以上 15.8%
4. 月1~2回 8.4%	5. 年3回以上 5.3%	6. 年1~2回 2.1%
7. ほとんどしない 6.3%		

問33 LINEで家族のグループまたはトークルームはありますか。(1つに○)

1. ある 45.8%	→問34へ	2. ない 54.2%	→問35へ
-------------	-------	-------------	-------

問34 LINEの家族グループまたはトークルームはどのくらいの頻度で使用しますか。

(1つに○)

1. 週3回以上 13.6%	2. 週1~2回 11.4%	3. 月3回以上 20.5%
4. 月1~2回 18.2%	5. 年3回以上 15.9%	6. 年1~2回 0%
7. ほとんど使わない 18.2%	8. 使ったことがない 2.3%	

問35 あなたは家族とLINEをする際、スタンプを利用しますか。(1つに○)

1. よく利用する 33.7%	2. たまに利用する 40.0%
3. 利用しない 26.3%	

問36 問35で1または2と回答した人にお聞きします。あなたは家族とLINEをする際、どんな用途でスタンプを使いますか。(数字1つに○)

a.感情を表現したい	当てはまる 5(34.4%)...4(21.3%)...3(21.3%)...2(13.1%)...1(9.8%) 当てはまらない 2
b.会話を終わりにしたい	5(17.6%)...4(17.6%)...3(27.9%)...2(16.2%)...1(20.6%)
c.上手く言葉が出ない	5(22.1%)...4(20.6%)...3(16.2%)...2(23.5%)...1(17.6%)
d.良い印象を持たれない	5(7.4%)...4(10.3%)...3(25.0%)...2(26.5%)...1(30.9%)
e.相手の機嫌をとりたい	5(8.8%)...4(10.3%)...3(23.5%)...2(25.0%)...1(32.4%)
f.文字を打つのが面倒である	5(36.8%)...4(26.5%)...3(19.1%)...2(7.4%)...1(10.3%)
g.自分らしさが表現できる	5(11.8%)...4(20.6%)...3(27.9%)...2(17.6%)...1(22.1%)
h.会話が楽しくなる	5(11.8%)...4(27.9%)...3(26.5%)...2(14.7%)...1(19.1%)
i.文字より気持ち伝わる	5(13.2%)...4(23.5%)...3(25.0%)...2(20.6%)...1(17.6%)
j.すぐに返信をしたい	5(19.1%)...4(38.2%)...3(14.7%)...2(13.2%)...1(14.7%)
k.返す言葉が見つからない	5(19.1%)...4(20.6%)...3(23.5%)...2(17.6%)...1(19.1%)
l.流行にのりたい	5(7.4%)...4(7.4%)...3(20.6%)...2(19.1%)...1(45.6%)

問37 家族とLINEをする際、最も利点だと思うことを教えてください。(1つに○)

1. 音声通話・ビデオ通話が無料 21.0%	2. 簡単にトークが送れる 54.3%
3. グループトークができる 9.9%	4. 過去のトーク内容が残る 0%
5. トークの既読が分かる 7.4%	6. 写真・動画が簡単に送れる 6.2%
7. スタンプ機能がある 1.2%	

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。